

特定処遇改善加算に対する取り組み

1	入職促進に向けた取組	○	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
		○	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）
2	資質の向上やキャリアアップに向けた支援	○	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等
		○	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入
3	両立支援・多様な働き方の推進	○	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
		○	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
4	腰痛を含む心身の健康管理	○	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
		○	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施
5	生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	○	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
		○	5S 活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている
		○	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
6	やりがい・働きがいの醸成	○	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
		○	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供